

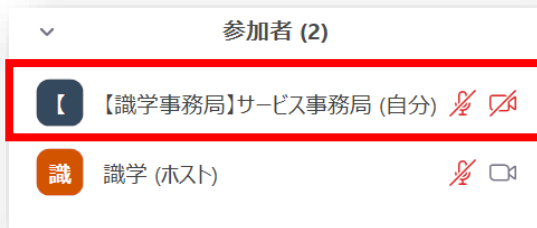
表示名の変更方法

※スマートフォンの場合も同様の方法で変更いただけます

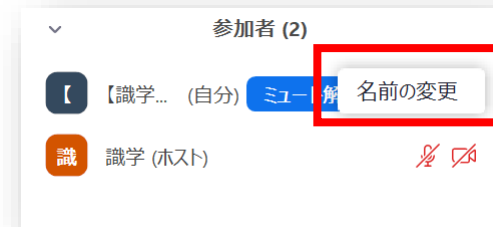
①「参加者」をクリック



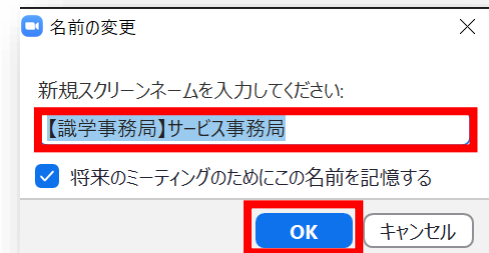
②画面右側に参加者一覧が表示されたら、自分の名前にカーソルを合わせて「詳細」をクリック



③「名前の変更」をクリック



④「会社名/役職名/氏名」の形に修正し、「OK」をクリックして完了



ミュートについて

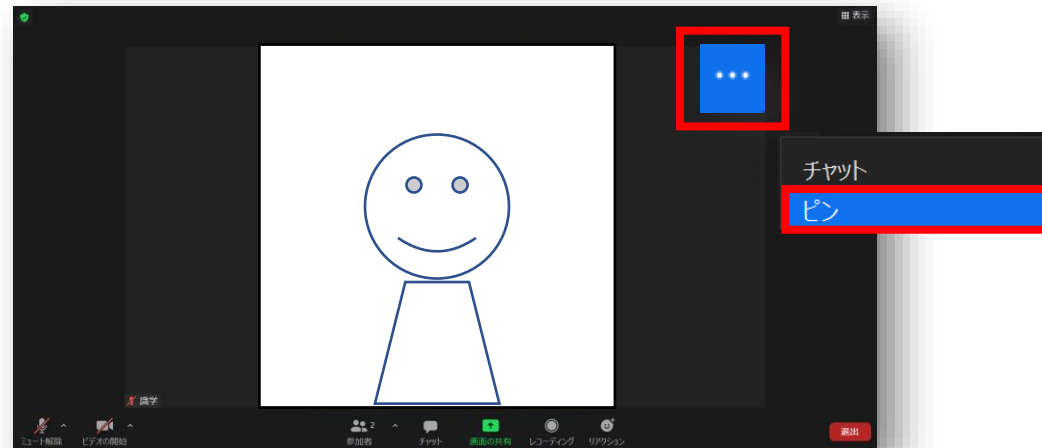
ミュートのON/OFFは、下記で切り替え可能です！

■Windows : **Alt+A**

■Mac : **Command(⌘)+Shift+A**

登壇講師の画面を固定する方法

※スマートフォンの方は設定いただけません



①登壇講師の画面にカーソルを持っていくと、右上に  マークが表示されるので、そちらをクリック

②そうすると「チャット」「ピン」という表示がされるので、「ピン」をクリック

登壇講師の画面が固定されます

※解除したい場合は、ピン止めた画面にカーソルを合わせると左上に解除ボタンが表示されます

アンケート協力をお願い

勉強会中に取り組んでいただいたワークシートを
アンケートに添付いただくと、
後日担当講師がワークシートのフィードバックいたします。

(アンケート回答画面)

The screenshot shows a survey response interface. At the top, there is a text input field. Below it, section 8 instructs the user to upload their worksheet. A yellow box highlights the 'ファイルの選択' (Select File) button, with an arrow pointing to it from a larger yellow box containing the instruction: 「ファイルの選択」をクリックいただき、端末に保存したワークシートのファイルをご選択ください。 (Click 'Select File' and select the file of the worksheet saved on your device). Below the button, a message states 'ファイルが選択されていません' (No file is selected). Section 9 expresses gratitude and invites the user to the next meeting. At the bottom, there are input fields for '名前' (Name) and '会社名' (Company Name), and a large blue button labeled 'アンケートを送信' (Send Survey).

8. 本日のワークシートをアップロードしてください。

ご自身の回答を記載いただいたワークシートをアップロードいただき、アンケートを送信ください。後日、担当講師がワークシートの内容をフィードバックいたします。ぜひ、アップロードをお願いいたします。

ファイルの選択

ファイルが選択されていません

「ファイルの選択」をクリックいただき、端末に保存したワークシートのファイルをご選択ください。

* 9. ご協力ありがとうございました。次回の識学会員勉強会のご参加も、心よりお待ちしております。

名前

会社名

アンケートを送信



識 学

SHIKIGAKU

識学浸透を成功に導くワークショップ型勉強会
～ルールをベースとした組織運営が出来る編～

識学の 『導入』と『浸透』

《WORK1》 【5分】

自社または自部署の識学浸透度を自己採点してください。

また、その点数の理由を記載してください。

Q.そもそも識学が組織に浸透した状態とは？

《WORK2》 【3分】

識学導入成功の定義（何を実現出来たら識学導入が成功したといえるか）を考えてみてください。
い。

識学が組織に浸透した状態とは？

- 社員がルールを守るようになったら？
- 役割責任が明確になったら？
- 完全結果が浸透したら？
- 評価の仕組みが完成したら？
- 離職率が安定したら？
- 売上が伸びたら？

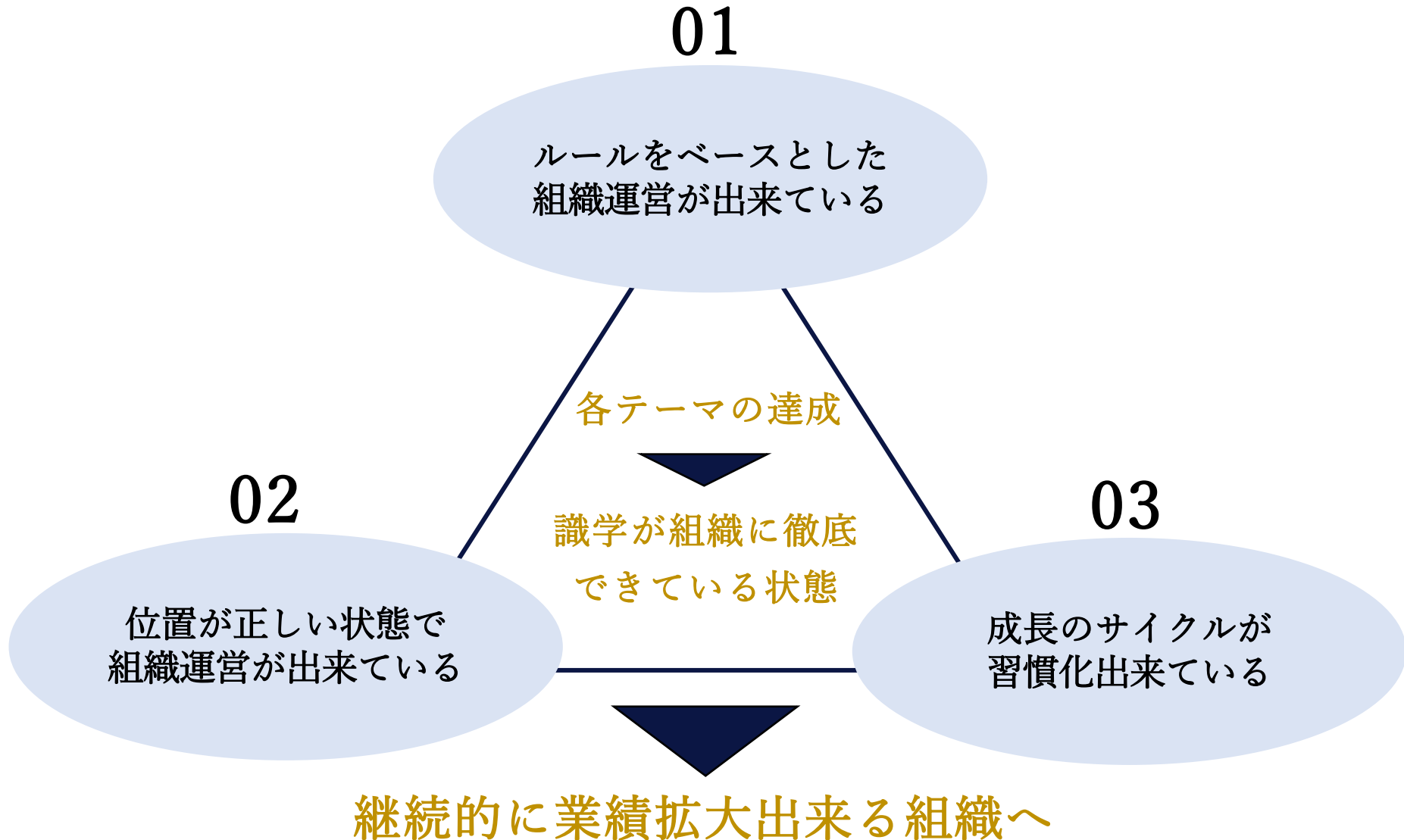


明確に定義されていなかった・・・。

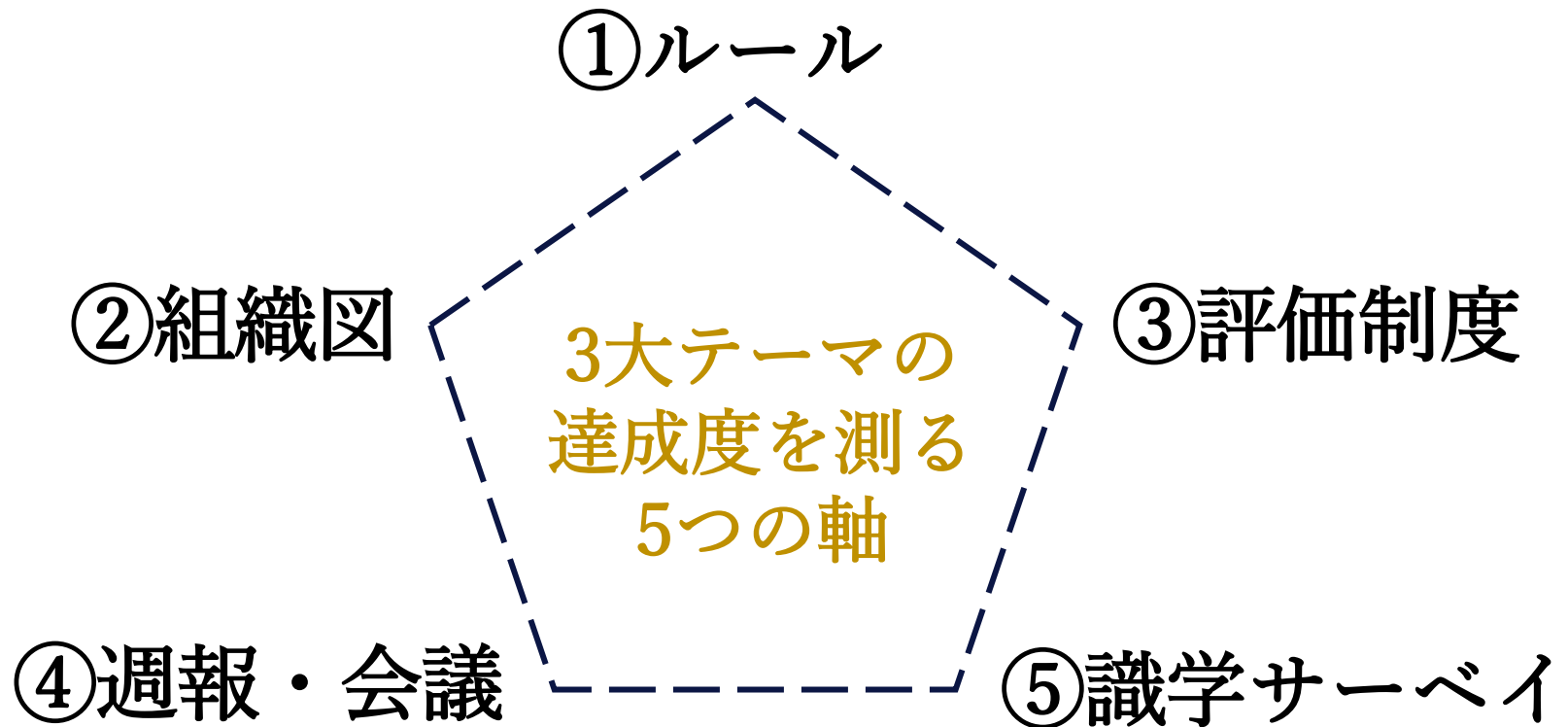
そこで

“識学が組織に浸透した状態”を定義しました

識学の目指す状態（3大テーマ）



識学の目指す状態（5つの軸）



上記5軸の状態をフェーズ分けで追及
(※1～6段階の全6フェーズ診断)

識学の目指す状態（5つの軸）イメージ

フェーズ 項目	フェーズ1	フェーズ2	・・・	フェーズ6
ルール	全社共通ルールが存在しない	全社共通ルールの完成と全社周知完了	—	ルール遵守が仕組化されている。
組織図	組織図が存在しない	組織図が正しく作成されている	—	組織図通りに指揮命令機能が働いている
週報・会議	報告機能がない、または形骸化状態	週報フォーマットが完成し運用スタート	—	全社で週次会議が実施されている
・ ・ ・	—	—	—	—

※各フェーズの基準（出来てる・出来ていない）は担当講師が確認致します。

本日は、3大テーマのうち

「A.ルールをベースとした組織運営が出来ている」

を掘り下げていきます。

なぜ「ルール」は必要なのか？

「ルール」と「自由」 関係性は？

A.ルールをベースとした組織運営が出来ている

<目指す状態>※ルールの浸透度



【フェーズ 1】 全社共通ルール（姿勢のルール）がない。

【フェーズ 2】 講師からOKが出ている全社姿勢のルールがある。

【フェーズ 3】 ルールの存在とその在りか（確認できる場所）全社員が把握できている。

【フェーズ 4】 ルール違反者がいた場合、上司による指摘が実行されており、全社姿勢のルールが浸透している。

【フェーズ 5】 部署単位での姿勢のルールが講師からOKが出て、運用開始できている。

【フェーズ 6】 ルールに不備があった場合、情報が上に上がるシステムが構築されており、ルール遵守に向けて正しい運用ができている。

ゴール + キープ

“A.ルールをベースとした組織運営が出来ている“

の具体例をQ&A方式でお伝えします

※配布資料からは回答を削除しております※

Q.次のルールのうち、姿勢のルールとしてふさわしくないものはどれか？

【制限時間2分】

- ①お客様の前では失礼のない言葉遣いをする
- ②常に感謝の心を忘れないようにする
- ③電話は2コール以内にとる
- ④毎月、30件以上のアポを取得する
- ⑤帰る前にはデスクの整理整頓を徹底する
- ⑥クレームを減らす努力を怠らない
- ⑦日報は金曜日に提出をする

解説 姿勢のルールのポイントチェック

■原理原則■

- ①姿勢のルールを作成&順守させる目的をリーダーが理解する
- ②表現を完全結果にする（期限+状態）
 - × 整理整頓 ⇒ ○机の上に何もない状態
 - × 日報を金曜日に提出する ⇒ ○金曜日17時までに提出
 - ※服装など、完全結果に表現しにくいものは「上司判断」でもOK
- ③最初の1ヵ月間は100%守れる状態をつくることに注力する
⇒最初からルールを作りすぎると100%守る状態が作れない可能性あり

■Q&A

Q.何度注意しても修正しない人はどうすべきか？

A.姿勢のルール＝法律。違反発見回数＝指摘回数とならなければならない。改善しないのは「この会社 にいたくない」との意思表示。降格・減給・始末書などの嚴重な嚴罰、それでもダメなら排除対象となる。リーダーが根負けするのが最もダメ。

Q.ルールの順守を評価対象にいれるべきか？

A.「評価を下げてでもいいから守らない」と部下側に選択権発生、上司が注意しなくなるなどの弊害。但し、人事配置等の印象評価には加味される。

Q.ルールはどう増やしていくのか？

A.必要性が生じたら増やす。また、一度作成したルールも現場からの情報収集を踏まえながら、必要に応じて変化させる。

Q.上司-部下間で下記のようなやり取りが発生。

部下「部長、先ほどクレームが発生しました」

上司「どのような内容なんだ？」

部下「A社の担当者から『問い合わせしてから3日経過したのに未だ回答がない』とお叱りを受けまして・・・」

上司「〇〇〇〇？」

エラー発生時、上司はどのような一言をかければ

部下は“ルール”に意識を向けるようになるだろうか？

【制限時間2分】

Q.識学を受講後、ただちに「お客様には24時間以内に返信する」というルールを全社に設定。「例外は一切認めない」と伝えたものの、現場のことを考えると例外を認めざるを得ないようなケースも想像できる。その場合、部下からどのような発言が出てくると、ルールの重要性が浸透してきたと考えられるか？

【制限時間2分】

Q.姿勢のルールを違反しているメンバーがいる場合、他の同階層のメンバーに連帯責任を負わせるのはありますか？

また、なぜか？

【制限時間2分】

Q.姿勢のルールを違反しているメンバーがいる場合、
上司に連帯責任を負わせるのはありますか？
また、なぜか？

【制限時間2分】

Q.上司が明らかにルール違反（セクハラ、パワハラなど）をしているということがあったとしても、上司に対しては何も言ってはいけないのでしょうか？

【制限時間2分】

《WORK3》 【5分】

A.ルールをベースとした組織運営が出来ているに関する6つの項目について、到達しているであろうフェーズにチェックを入れてください。また、それぞれの項目で現状の自己分析を記載してみてください。

※ワークシート右ページ参照

《WORK4》 【3分】

WORK3のチェックシートを振り返り、自社（もしくは自部署）の“不足”と“行動変化”を考えてみてください。



識 学
SHIKIGAKU

『識学を広める事で人々の持つ可能性を最大化する』